

カンボディア王国プロジェクト形成調査及び在外プロジェクト形成調査

109  
21.6  
PLI  
BRARY

内部検討資料

# カンボディア王国

## プロジェクト形成調査及び在外プロジェクト形成調査

(難民再定住計画 III)

### 調査結果資料

1993年11月

企画部地域第一課

国際協力事業団

JICA

JICA LIBRARY



1124451(4)

199310302-0100-0604

199312401-0100-0604

JICA



## 目 次

地図

基礎統計資料

サイト・ロケーション・マップ

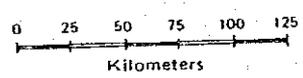
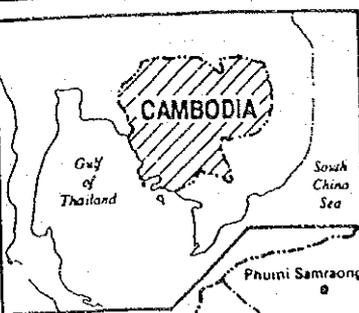
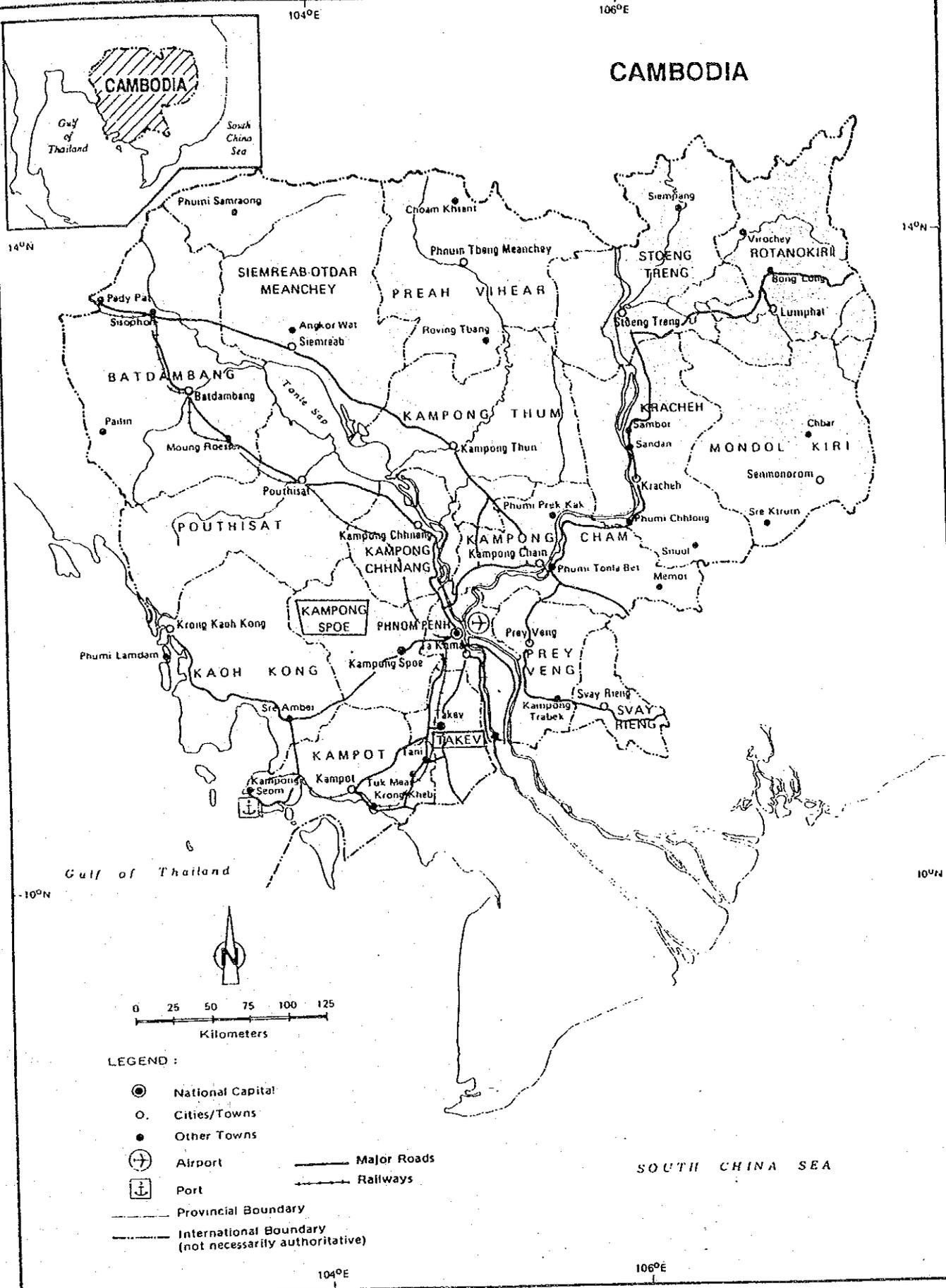
写真

<b>第一章 :</b>	<b>調査の実施</b>	-----	1
1-1	調査の目的	-----	1
1-2	調査の背景・経緯	-----	1
1-3	調査団構成	-----	2
1-4	調査日程	-----	3
1-5	調査結果の概要	-----	5
<b>第二章 :</b>	<b>難民再定住の現状</b>	-----	10
2-1	難民の帰還状況	-----	10
2-2	UNDPの帰還難民の再定住の取り組み状況	-----	11
2-3	コンボンスプー県における主要NGOの活動	-----	11
<b>第三章 :</b>	<b>プロジェクト実施の概要</b>	-----	14
3-1	全体計画の概要	-----	14
3-2	プロジェクト実施体制	-----	24
3-3	プロジェクト・サイトの安全対策	-----	26
添付資料:	(1) トラム・クナの宿泊施設の完成予想図		
	(2) R/D 及びマスター・プラン		
	(3) 面会者リスト		



1124451 (4)

# CAMBODIA



**LEGEND :**

- National Capital
- Cities/Towns
- Other Towns
- ✈ Airport
- ⚓ Port
- Provincial Boundary
- International Boundary (not necessarily authoritative)
- Major Roads
- Railways

SOUTH CHINA SEA

**CAMBODIA**  
**BASIC INDICATORS**

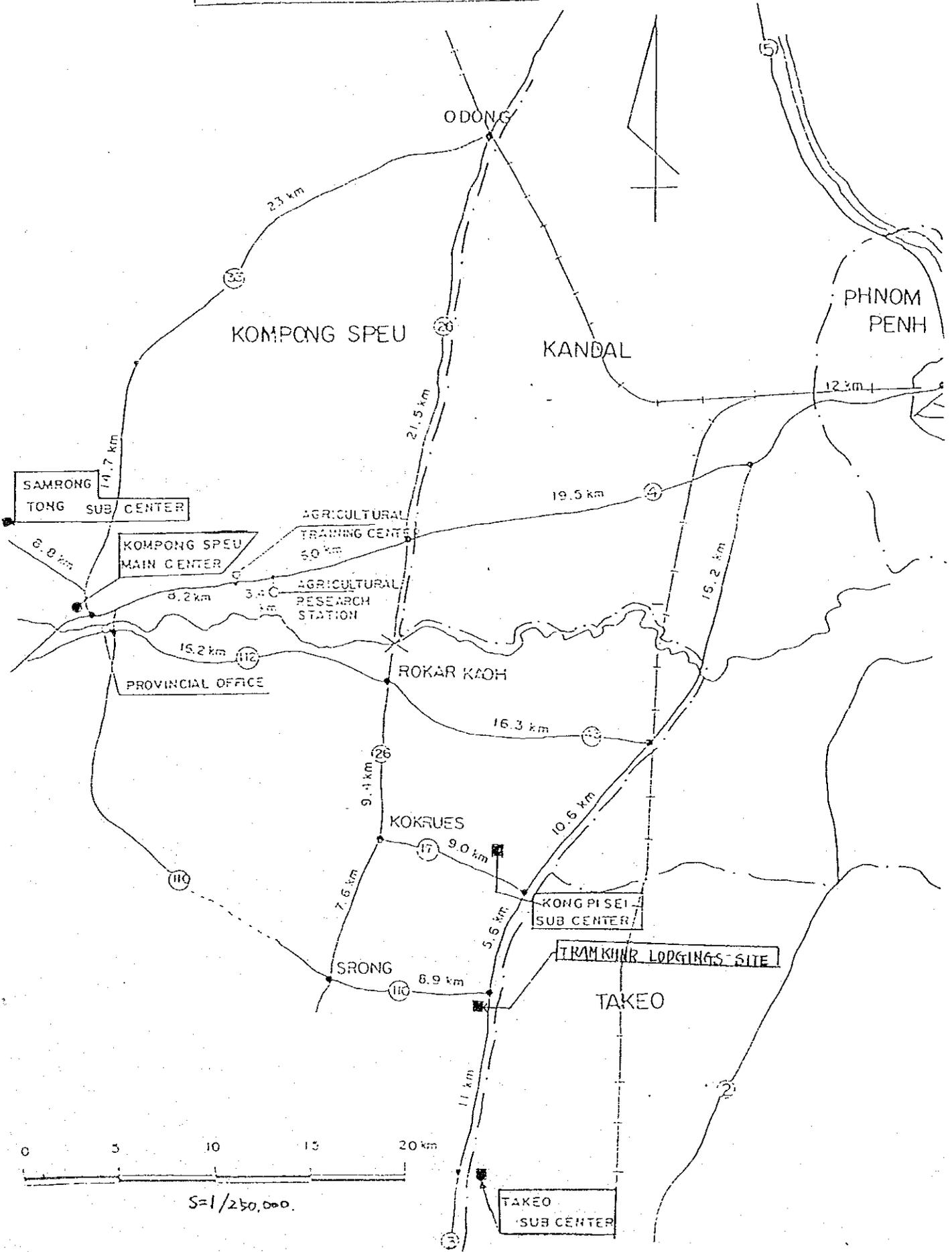
Land Area	181,035 sq. kms.
Population	8.5 million
Whole country	0.7-1 million
Phnom Penh	47 per sq. km.
Population Density	2.8%
Population Growth Rate	10.0
Urban Population (%)	
GDP Per Capita (1990)	US\$150-200
Social Development Indicators a/	
Life Expectancy at Birth	48 years
Infant Mortality Rate	120 per 1,000 live births
Education	
Adult Literacy Rate	60-70%
Health	
Population Per Physician	
Phnom Penh	2,552
Provinces	90,160
Hospital Beds	
Phnom Penh	5.0 per 1,000 population
Provinces	1.4 per 1,000 population
Structure of Production (1989) b/	
Agriculture	45%
Manufacturing	12%
Construction	13%
Commerce	10%
Others	20%
Main Agricultural Products	Rice, rubber, timber, beans, vegetables, tobacco, fish
Exports (1989) b/	Convertible Area: \$17.4 million Non-Convertible Area: 26.8 million roubles
Imports (1989) b/	Convertible Area: \$24 million Non-Convertible Area: 110 million roubles
Main Exports	Rubber, timber, beans, tobacco, fish and fish products
Main Imports	Food, fuel, fertilizers, raw materials, equipment, spare parts
Inflation Rate b/	Before 1988: less than 10% 1989: 50% 1990: 100% 1991: 150%
External Debt (1989) c/	Convertible Area: US\$279 million Non-convertible Area: US\$1,132 million

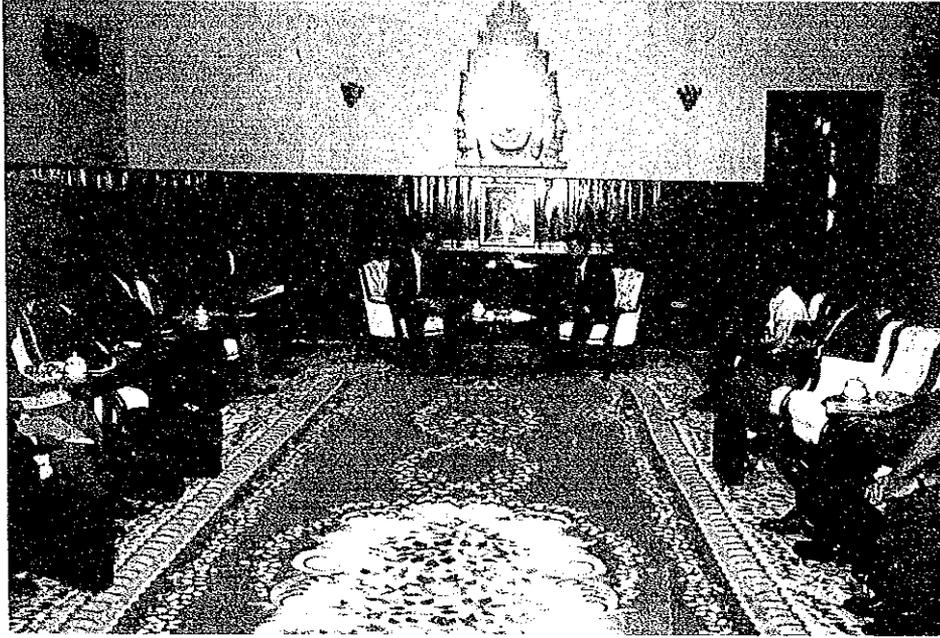
a/ UNICEF, Cambodia: The Situation of Children and Women, Phnom Penh, 1990.

b/ Cambodian Authorities.

c/ OECD, Financing and External Debt of Developing Countries, Paris, 1991.

# SITE LOCATION MAP

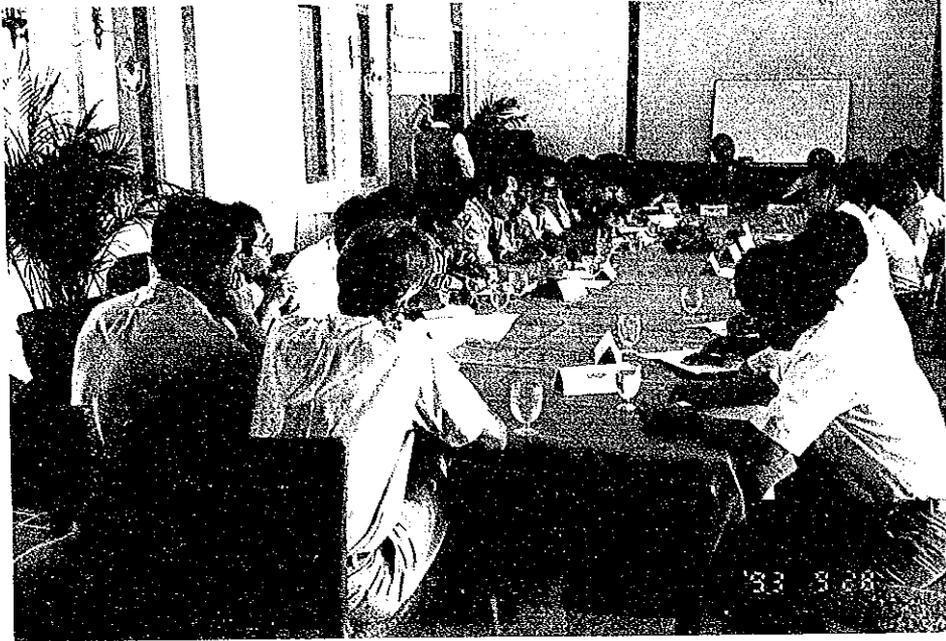




合同調査団： 外務・国際協力省表敬訪問



合同調査団： 農村開発省表敬訪問



R/D 及びM/Pの討議風景



R/D 及びM/Pの署名風景



コンポンスプー県庁



合同調査団：コンポンスプー県庁表敬訪問



コンボンスプー・メインセンター



タケオ・サブセンター



サムロントン・サブセンター





コンピセイ・サブセンター



コンボンスプーの市場

## 第一章：調査の実施

### 1-1 調査の目的

帰還難民、国内流民及び除隊兵士の再定住を促進させ、安定した生計を確立させる目的で、日本とアセアン各国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ)が協力して農村開発プロジェクトをコンボンスプー県周辺で93年4月から実施予定であったが、総選挙前にプロジェクト・サイト周辺の治安が急激に悪化したため、アセアン各国等の関係機関と協議の上、情勢が落ち着くまでプロジェクトの開始を一時延期していた。暫定国民政府の設立後、政治及び治安情勢も正常化しつつあり、プロジェクトの再開に先立ち、日本からのプロ形調査団とアセアン各国の責任者からなる在外プロ形調査団を同時時期に現地に派遣し、各国間及び現地関係機関との協議並びに実施計画の策定を行うものである。

#### (調査項目)

- (1) プロジェクト・サイト周辺 (特にコンボンスプー・メインセンター) の治安情勢の把握
- (2) R/D及びM/Pの協議及び署名 (アセアン各国, 日本側, カンボディア側)
- (3) 準備・試行期間及び本格活動期間の開始時期の決定並びにその活動内容、規模、テクニシヤンの派遣分野/人数等 (Project Activities)の検討・調整及び合意
- (4) 94年4月以降のプロジェクトの継続についてUNDP及びUNHCRとの協議

### 1-2 調査の背景・経緯

- (1) 1991年10月、パリ和平協定が調印され、UNHCRによって実施されたタイ国境からの難民の帰還は1992年3月30日に始まり、93年5月の総選挙までに総数約38万人に達したが、現在のカンボディアにとって、この帰還難民、国内流民及び除隊兵士の再定住を促進させ安定した生計を確立させることが最大の課題となっている。
- (2) 上記問題を解決するためには、国内最大の産業であって人口の約8割が従事している農業分野での支援が不可欠である。92年5月にUNHCRのジャパン・ファンドを活用した難民再定住計画支援のための日本・アセアン共同技術協力が提案され、農業分野で協力活動を行うことで各国の基本的合意を得た。同年7月24日にフィ

リピンで開催されたアセアン拡大外相会議で、日本の資金・技術とアセアン諸国の知識・経験を組み合わせたカンボディア復旧・復興のための「三角協力」構想を表明したところ、各国からの賛同が得られた。同年9月に日本からプロジェクト形成調査団がカンボディアに派遣され、コンポンスプー県周辺での農村開発プロジェクトの共同実施を提案したところ、アセアン4ヶ国（フィリピン、タイ、マレーシア、インドネシア）からの参加が得られた。

- (3) 92年11月に（財）日本国際協力センター(JICE)がUNHCRとの間に本プロジェクトの実施にかかる契約に署名し、12月より第一フェーズの農村基盤整備が開始され、93年4月に完了した。これを受けて93年4月から本格実施であった本プロジェクトの第二フェーズは総選挙前の治安情勢の悪化のため、アセアン各国等の関係機関と協議の上、情勢が落ち着くまで開始を一時延期していた。その後、総選挙の実施、暫定国民政府の設立など、政治及び治安情勢も正常化しつつあり、第二フェーズの開始に先立ち全体的なスケジュール及び投入計画の見直しが必要とされている。かかる状況を踏まえ、アセアン各国の責任者からなる在外プロ形成調査団と日本からのプロ形成調査団を現地に派遣し、各国間及び現地関係機関（カンボディア側、UNHCR、UNDP等）と協議を行い、プロジェクト・サイト周辺の治安情勢、協力隊を含めたアセアン各国のテクニシャンの人選状況と派遣の可能性、カンボディア側受け入れ体制の確認等の今後の見直しを確認し、実施計画の策定を行う。

### 1-3 調査団構成

#### (1) プロ形成調査団（7名）

総括	高橋礼一郎	外務省 経済協力局 技術協力課 首席事務官
協力政策	野口修二	外務省 アジア局 南東アジア第一課
協力計画	金丸守正	国際協力事業団 企画部 地域第一課長
専門家活動	熊野秀一	国際協力事業団 派遣事業部 派遣第一課長
協力隊活動	小宮英夫	青年海外協力隊事務局 派遣第一課長

調査企画 和田欽次郎 (財) 日本国際協力センター 開発部長

業務調整 浜田哲郎 国際協力事業団 企画部 地域第一課

(2) 在外プロ形調査団 (5名)

Philippines Ms. Alice C. Palacios Executive Director, Technical Cooperation Council of the Philippines, Ministry of Foreign Affairs.

Thailand Mr. Wuti Niponkit Agricultural Researcher, Prachinburi Rice Research Center, Department of Agruculture, Ministry of Agriculture and Cooperative.

Malaysia Mr. Mohamad Zainol Abidin Director, External Asssance section, Economic Planning Unit (EPU), Prime Minister's Department.

Indonesia Dr. Ir. Soemitro Arintadisastra Head, Bureau for Planning , Agency for Mass Guidance, Ministry of Agriculture.  
Dr. I.G.P. Wiadnyana\* Head, Directorate for Health Center  
(インドネシア政府負担) Development, Directorate General of Community Health, Ministry of Health.

1-4 調査日程

9月26日(日)

アセアン在外プロ形調査団プノンペン到着

9月27日(月)

12:00 日本側プロ形調査団プノンペン到着

15:00 外務・国際協力省表敬訪問 (Mr.Sek Seta, High Senior officer in charge of Internatuonal Cooperation)

16:00 農村開発省表敬訪問 (H.E. Thach Reng, Minister)

17:00 日本大使館表敬訪問 (日本側プロ形調査団のみ)

9月28日(火)

0:8:00 日本・アセアン非公式協議

09:00 農村開発省副大臣による治安情勢の説明・質疑応答

R/D, 付属文書, マスタープランの討議

(日本側プロ形調査団, アセアン在外プロ形調査団, 農村開発省, 計画省, 農業省, UNDP, UNHCR, プロジェクト・チーム, 在プノンペンタイ大使館, 在プノンペンインドネシア大使館, JICA事務所)

17:30 (終了)

9月29日(水) 《プロジェクト・サイト視察》(タイ大使館員同行)

07:00 ホテル出発

09:00 コンピセイ・サブセンター

09:30 タケオ・サブセンター

10:00 トラムクナ・サイト

12:00 サムロントン・サブセンター

13:00 コンボンスプー・メインセンター

15:00 コンボンスプー県庁表敬訪問 (Vice Governors: Mr. Bin Sareth, Mr. Yim

Sokknour, Mr. Li Sonn, Provincial Member : Mr. Tep Mem)

16:30 ホテル到着

9月30日(木)

10:00 R/D, 付属文書, マスタープランの討議

(日本側プロ形調査団, アセアン在外プロ形調査団, 農村開発省, 計画省, プロジェクト・チーム, 在プノンペンインドネシア大使館, 外務

16:30 (終了) 国際協力省, 日本大使館, JICA事務所)

18:30 R/D, 付属文書, マスタープランの署名(日本: 高橋礼一郎, インドネシア: Mr. Sukanto, マレーシア: Mr. Mohamad bin Zainol Abidin, フィリピン: Ms. Alice C. Palacios, タイ: Mr. Wuti Niponkit, カンボディア側: H.E. Thach Reng, Minister) なお、外務・国際協力大臣は外遊先の米国からの帰国後、署名予定である。

9月31日(金)

11:00 UNDP及びUNHCRとの協議

10月1日(土)

13:00 調査団プノンペン出発

#### 1-5 調査結果の概要

- (1) 調査団は、9月27日に外務・国際協力省 (Mr. Sek Setha, High Senior Officer in Charge of International Cooperation), 農村開発省 (H.E. Thach Reng, Minister), 日本大使館(今川大使)を表敬訪問し治安情勢等のブリーフィングを受けた。カンボディア側の両省に対してプロジェクト実施及び安全確保の協力を要請した。両省の回答の概要は以下のとおり。

ア. 安全確保には最大限の努力を行なう。プロジェクトの実施地域であるコンボンスプー及びタケオ州に所要の処置をとるよう公文書で指示を出す。

イ. 守屋専門家(プロジェクト・マネージャー)と協力してプロジェクトの準備を進めており、本プロジェクトは非常に重要なもので全面的な協力を惜しまない。

- (2) 調査団は、9月29日に全プロジェクト・サイト及び宿泊施設の候補地であるトラム・クナの視察を行ない、コンボンスプー県庁 (Vice Governors: Mr. Bin Sareth, Mr. Yim Sokknour, Mr. Li Sonn, Provincial Member: Mr. Tep Mem) を表敬訪問した。討議内容の要約は以下のとおり。

ア. プロジェクトの第一段階の成果に極めて満足している。特にプロジェクト・サイト間の道路は県庁からの基幹道路であるので、その補修に住民は非常に感謝している。

イ. 同県の住民は他県と比較して貧しく、特に今年はかんばつのため、40 - 50%の作付面積しかなく不作が予想されている。従って、本プロジェクトの第二段階はさらに重要であり、緊密に協力してプロジェクトを進めていきたい。

ウ. プロジェクト成功の最大の要因は安全確保である。同県内では国民和解の達成

後、一般犯罪の事件を除いてボル・ポト派による大規模の攻撃は行なわれていない。現在、ボル・ポト派は県南部に存在せず、県北西部にいるグループも生活に追われている状態で特に心配ない。ボル・ポト軍主力は同県の県境から遠く離れた地域に駐屯しており、プロジェクト・サイトは安全である。すでにプロジェクト・サイト地域ではNGOsも活動している。パリ協定上の制約がなくなった現在では、政府軍はボル・ポト軍を攻撃することが可能。また、県としてもプロジェクト専門家の安全を確保するために最大限の努力を払うが、カウンターパートも安全確保に協力する。

エ. 国道4号線の北に位置するメインセンターも安全であるが、遠く離れた地域には地雷が埋設されている所もあるので注意が必要である。より安全を期すために宿泊施設をトラム・クナに移転・建設することには異議はない。また、トラム・クナから毎日メインセンターへ通勤することも全く問題ない。但し、どこにいても一般犯罪の危険があるので、夜の移動は避けて欲しい。宿泊施設がどこであれ、プロジェクトに全面的に協力することには変わらない。

- (3) 28日及び30日にプロジェクト実施にかかる協議を関係機関(農村開発省、外務・国際協力省、農業省、計画省、UNDP、UNHCR、在プノンペン・インドネシア大使館、在プノンペン・タイ大使館)を招いて行なった。30日に、カンボディア側の外務・国際協力大臣及び農村開発大臣(但し、外務・国際協力大臣は外遊先の米国からの帰国後、署名予定)、アセアン各国からの在外プロ形調査団(インドネシアのみ在プノンペン・インドネシア大使館二等書記官が署名)、プロ形調査団団長の間でR/D及びM/Pが署名された。署名に先立つ討議の主要な事項は次のとおり。

#### ア. 治安情勢

28日の討議に先立ち、農村開発省副大臣の治安情勢についてのブリーフィングが行なわれ、質疑応答があった。タケオ及びコンボンスプー県の治安状況は、時間及び場所にもよるが大幅に改善されている。しかし、100%の保証はできない。活動中のNGOや外国人を含め現在のところ問題はない。但し、一般犯罪はある。同省は治安担当の官庁でないので、安全確保については県政府当局に連絡してほしい。プロジェクト・サイト周辺では地雷等の危険はないが、何かあれば地元の警察に連絡してほしい。最新の地雷情報はMining Information Centerで入手できる。

#### イ. トラム・クナにおける宿泊施設の建設

より安全安全を期すためのトラム・クナにおける新宿舍の建設は、本年度のアセアン専門家派遣費の未使用予算から支出し、プロジェクトの他の分野の活動に影響を与えないことを条件とし、また既存の施設を確実に有効利用されることを前提として、プロジェクト関連施設を増やすことがカンボディア側の利益になるとして合意を得た。外務・国際協力省経済協力局長から同省は調整機関であるので、同件のようなプロジェクトの本質にかかる変更がある場合は、公式に通報してほしい旨のコメントがあった。

#### ウ. アセアン専門家の特権・免除

アセアン専門家の免責につき(R/DのII.3.4)、カンボディア側の責任の限度・範囲についての懸念が表明されたが、本条項は日本人派遣専門家のA-1フォームに前例があり、これはカンボディア側の賠償責任でなく業務遂行中の専門家の免責であり、アセアン専門家の事故等での傷害についてはJICEが派遣前にかける傷害保険にて手当される旨説明し了承を得た。また、本条項を既に署名済みのJOCV派遣協定の条文と同じ文言に変更することとなった。

#### エ. R/Dの性格

R/Dに法的拘束力を持たせるため、R/D署名後、別途口上書交換等を行なうべきでないかとの意見が出されたが、署名されたR/Dの関係条項を口上書に引用する形で各国がカンボディア政府との間で口上書を交換することで合意した。口上書の内容を統一するため、今後アセアン各国間で協議することとなった。参考のためにJOCVの派遣協定の写しを各国に配布した。

#### オ. National Project Coordinator (NPC)

カンボディア側でのプロジェクトの総合調整を図る目的で、NPCを設置することが提案され了承された。NPCは農村開発省のダイレクターレベル以上の者が任命され、カンボディア側でのプロジェクト実施上の責任者として、Joint Consultation Committee(JCC)にプロジェクトの進捗状況につき報告することとなった。なお、JCCのメンバーとしてJICA事務所長及び農業省が新に加わることになった。

#### オ. アセアン派遣のテクニシヤンの呼称

アセアン派遣の人員の呼称をテクニシヤンから専門家に変更することとなった。但し、派遣される人員のレベル、性質、待遇等に変更はない。

カ. 国別分野別の派遣予定人数及び実施スケジュール

インドネシアより10名(稲作6名, 公衆衛生4名), マレーシアより10名(農業訓練普及3名, 水管理1名, 生計向上4名, 公衆衛生2名), フィリピンより10名(野菜3名, 果樹3名, 畑作3名, 英語1名), タイより10名(稲作1名, 畜産1名, 養殖1名, 婦人子供服1名, 木工1名, 英語2名, 公衆衛生2名), JOCVより10名(稲作1名, 農業機械1名, 手芸1名, 陶芸1名, 美容1名, 体育2名, 公衆衛生3名)が派遣されることを確認し了承した。また、本年10月下旬からアセアン各国の1-2名の専門家(チームリーダーを含む)及びJOCV2名で準備作業を開始し、明年2月初旬頃の本格活動をめざすことが再確認された。本格活動が開始されるまでに、JICEがトラム・クナに宿泊施設を建設することとなった。

- (4) 調査団(マレーシア、フィリピン、タイ代表が参加)は、10月1日に UNDP事務所において UNDP及びUNHCRと、プロジェクト実施に関する協議を行なった。UNDPとはプロジェクトの実施期間を延長をした場合のUNDPのアレンジメントでのプロジェクトの継続に関して、UNHCRとは現行の契約下でトラムクナに宿舎施設建設を行なう場合のJICEとの契約変更に関する討議を行なった。

ア. UNDPは、現在農村開発プロジェクト(CARERE : Cambodia Resettlement and Reintegration)をバッタバン、シンファン、プルサット県で実施中であり、さらにシュリムアップ、タケオ、コンボンスプー県でもCAREREを展開する予定であるので、UNHCRに代わってパートナーになることには基本的に異存はない。

イ. 実施する場合の形式としては、CAREREの一部門となるか(コスト・シェアリング)、連携した独立のプロジェクト(トラスト・ファンド)として行なうのかのどちらかが考えられる。但し、独立して実施する場合は、同一地域でCAREREを実施する予定であるので類似のプロジェクトを重複して行なっている印象を与える。したがって、重複せず互いに補完するためにも十分な調整を必要とする。

ウ. また、UNDPは技術協力に対する資金提供機関であるので、UNHCRのように直接JICEと契約を結ぶことができない。従って、UNDPの一部局でプロジェクト実施機関であるOPS(Office for Project Services)と契約する必要があるが、agency support costを支払わなければならない。上記の問題については、我が方もいかなる方法が最も有効な連携となるのか引き続き検討するが、11月頃に外務省技術協力課長が UNDP本部に出張する機会に改めて関係者と協議することとなった。

エ. プロジェクトの中断によるアセアン専門家派遣費用の未使用資金を使用して、より安全を期すために ترامクナに宿舎施設建設を行なう件に関しては、本プロジェクト実施にかかるR/DにUNHCRが署名したわけではなくJICEとの契約見直しの中で検討する必要がある。

オ. UNHCRとしては、新宿舎の建設は予算の使い方として疑問があり、余裕があれば住民に直接被益する使い方をすべきと考える。調査団としては本プロジェクトの性格(長期間にわたりプロジェクト・サイトで生活する)を考慮すれば、宿泊施設の建設が必要であると認識しており、和田調査団員がプノンペンにしばらく滞在するので契約上の問題につき協議することとした。

なお、その後の協議の結果、UNHCRは、(1)予算内に納まること、(2)予算規定に沿っていること、(3)カンボディア側の利益を損なわないことを条件に新宿舎の建設を基本的に了承した。契約変更手続きに関しては、引き続きJICEがフォローすることとなった。



合同調査団： ترامクナ宿泊施設建設予定地を視察

## 第二章：難民再定住の現状

### 2-1 難民の帰還状況

1993年5月の総選挙前に帰還した難民は、全国で353,714人(81,063世帯)に達した。しかし、未だ760人(251世帯)がタイに残留している。その他に、20万人の徐隊兵士、18万人の国内避難民が国内に存在している。プロジェクトを実施するタケオ及びコンボンスプー県に帰還した難民は以下のとおりである。

県名	地区名	オプションA		オプションB		オプションC		オプションD		オプションE		オプションF		合計		タイ残留	
		人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数
タケオ		324	74	1178	344	14178	3203	0	0	368	83	10	2	16058	3706	26	5
	Angkor Borey	0	0	49	12	195	42	0	0	0	0	0	0	244	54		
	Bali	95	22	153	40	1432	302	0	0	16	3	0	0	1696	367		
	Borey Cholasar	119	25	7	5	52	13	0	0	7	1	0	0	185	44		
	Kaoh Andet	51	12	100	23	798	175	0	0	77	15	0	0	1026	225		
	kiri Vong	32	9	134	40	1729	402	0	0	25	4	8	1	1928	456		
	Prey Kabbas	7	1	95	36	2005	445	0	0	13	3	0	0	2120	485		
	Samrong	0	0	56	19	1059	228	0	0	18	4	0	0	1133	251		
	Takco Town	0	0	10	4	159	38	0	0	24	5	0	0	183	47		
	Tram Kak	13	3	333	98	4787	1131	0	0	149	38	0	0	5282	1270		
	Treang	7	2	241	67	1962	427	0	0	39	10	2	1	2251	507		
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

県名	地区名	オプションA		オプションB		オプションC		オプションD		オプションE		オプションF		合計		タイ残留	
		人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数
コンボンスプー		728	167	684	188	7501	1636	0	0	124	27	0	0	9037	2018	6	1
	Bor Seth	266	56	17	8	856	209	0	0	17	3	0	0	1156	276		
	Chreav Aoral	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	Kampong Speu Town	25	9	13	5	133	30	0	0	24	6	0	0	195	50		
	Kirirom	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	Kong Pisei	300	67	100	27	2055	448	0	0	13	4	0	0	2466	546		
	Odongk	16	4	234	60	1277	278	0	0	10	2	0	0	1537	344		
	Phnum Sruoch	0	0	112	31	982	208	0	0	0	0	0	0	1094	239		
	Rolcak Kang cheung	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	Samrong Tong	1	1	189	51	1636	339	0	0	55	11	0	0	1881	402		
	Thpong	120	30	19	6	562	124	0	0	5	1	0	0	706	161		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

注: オプションA -- 1-2haの農地, 共通支給物(住宅用資材, 生活用品, 食料品, 住宅用資材購入費, 400日分の米支給)

オプションB -- 住宅地, 共通支給物

オプションC -- 現金支給(但し, 農地, 住宅地, 住宅用資材なし), 共通支給物

オプションD -- US\$200以下の専門機材, 共通支給物

オプションE -- UNTACとNGOでの雇用

オプションF -- 国内に残留している家族に帰還

帰還難民が直面している問題として、地雷、盗賊、内戦、インフラの崩壊等が上げられる。農村地帯に再定住する予定の難民の半数は、半都会的なキャンプに長く生活しており、地方での農業生産になじむのが簡単でない。また、大部分の難民が定住するのを希望した北西部の4県では、安全な農耕地の不足によって再定住が難しくなっている。北西部のバッタバン、バンテアリ・メアンチェリー、プルサト、シエム・レップ県の3万haだけが、地雷の危険や身の危険のない安全な土地であり、これは必要な農耕地の20%しかない。さらに、国内避難民や帰還難民は、現地で生活している人々にとって国内の限られた雇用機会を奪う存在となっている。また、彼等は、国内の不十分な教育、医療、水、衛生の施設やサービスを圧迫している存在でもある。

## 2-2 UNDPの帰還難民の再定住の取り組み状況

本プロジェクトに関わりのあるUNDPはUNHCRと協定を結び、OPS (Office for Project Services)を実施機関として、農村開発プロジェクト(CARERE: Cambodia Resettlement and Reintegration)をバッタバン、シンファン、プルサット県で実施中である。さらにシュリムアップ、タケオ、コンボンスプー県でもCAREREを展開する予定である。

CAREREは村落のニーズを発掘しながら、帰還難民及び国内避難民の再定住を助けることを目的としている。その実施アプローチは、Provincial Support Unit (PSU)を設置してのArea-based Developmentである。実際のプロジェクト実施は、県や郡の機関、あるいはNGOsが担当しているが、全てのプロジェクトの計画、運営管理そして実施段階まで、最大限に住民参加型の手法を取り入れている。PSUは、地方機関の技術力や運営管理能力をサポートするとともに、能力を強化することを目的としており、一方当該地域で活動しているドナーや援助組織との調整機能を果たしている。協力分野は、コミュニティー・デベロップメント、道路建設、教育、農業、医療・保健、水と衛生、金融と雇用創出などの目に見える物理的なものに焦点がおかれている。

1992年9月から1993年8月までの期間に、プロジェクト予算US\$1千万が計上され、これまでに労働集約的な方法で、約150の学校、2,000の井戸、37Kmのかんがい水路の修復が行なわれた。

## 2-3 コンボンスプー県における主要NGOの活動

同県では、毎月末に副知事主催のKompong Speu Joint Provincial Meetingが開催され、同県内で活動しているNGO及び国際機関等27団体が出席を求められている。毎回、平均10団体が出席し、各々の活動報告と並んでUNTACや県政府からの包括的な政治情勢や活動への要望について説明を受ける調整的な会合の場となっている。

コンボンスプー県内で活発に活動している主要NGOは4団体あり、名称、活動内容等は

以下のとおりである。

(1) The Association of Medical Doctors for Asia

主な活動地域はPhnom Snuoch Districtの全域であるが、同地区の半分はポル・ポト派の支配地域である。被益者の約30%はポル・ポト派の村民である。現在、5名の医師と調整員がプノンペンから往復して活動しているほか、現地に居住するカンボディア人医療スタッフが活動している。今後は、事務所及び宿泊施設を設け、スタッフが常駐して活動内容を拡大・充実していく予定である。以下の活動を行なっている。

- ア. 病院において、看護婦、医療補助スタッフに対する技術指導(セミナーの開催等)
- イ. 乳幼児に対する予防接種(雨期)
- ウ. マラリヤ対策(蚊帳の配布等)
- エ. 診療活動

(2) CONCERN

主な活動地域は、Samrong Tong Districtであるが、国内避難民のキャンプがあるNew Oral Districtにも活動範囲を拡大しており、スタッフはプノンペンより週日往復している。活動内容は以下のとおりである。

- ア. 教育分野 -- 新校舎の建設(4校完成) 及び校舎の再建(45校完成)
- イ. 医療保健分野 -- プライマリ・ヘルスケア(PhC)の指導(10名のPhC要員の育成, 県レベルの指導, 小学校での保健教育), 予防接種の実施(65村での乳幼児対象, 6名のスタッフ派遣, キャンプでの小規模クリニックの再建)
- ウ. その他 -- 国内避難民に対する住宅資材供与, 傷病退役軍人に対する車椅子供与

(3) Partnership for Development in Kanpuchea (PADEK)

PADEKはFOS(ベルギー), NOVIB(オランダ), Oxfam(アメリカ、ベルギー、香港)の混成団体であり、Samrong Tong Districtの農業訓練センター及び農業研究センターにて活動している。スタッフはプノンペンから週日往復している。主な活動内容は農業分野であり、Ptey Phdau Rice Research Station 及びAgricultural Extension and Training Centerにて技術指導を行なっている。

(4) Redd Bama (ノルエーのSave the Children)

主な活動地域は Kong Pisci District であり、「子供のための開発計画」により活動を展開している。スタッフは毎日プノンペンから往復している。同計画に沿って下記の活動を行なっている。

ア. 教育分野 -- 校舎の建設

イ. 医療保健分野 -- 乳幼児を対象に予防接種の実施

ウ. 農業分野 -- 基金の設立(スイカ生産及び養豚), 種子の配布(耶子, ジャックフルーツ)

エ. その他 -- 井戸掘り資材の供与



中学校の校舎



ンターの共同 圃場整備, 公共施設(集会所, 職業訓練所, 井戸), 教育施設(小学校等), 市場施設等

なお、より安全を期す目的でトラム・クナにJICEが宿泊施設を、本格活動(1994年2月)が開始するまでに建設する。

2) 農村地域開発(三角協力)

標記農村開発計画を、準備期間 (1993年10月-1994年1月) と本格実施期間 (1994年2月以降) の二つのフェイズに分け、農村開発センターとサブ・センターにおいて、下記の分野で協力活動を実施する。本プロジェクトのカンボディア側実施機関は農村開発省である。

- 7. 農業開発 (稲作, 畑作, 果樹, 野菜, 畜産, 養殖)、
- イ. 生計向上(婦人子供服, 手芸, 木工, 陶芸, 美容)
- ウ. 教育向上(英語, 体育)
- エ. 公衆衛生

なお、1994年3月に本プロジェクトにかかるUNHCRとJICEの契約が終了するが、その後UNDPと引き続き1年間の契約(1995年3月まで)を結ぶ予定である。

プロジェクト関係機関の役割と暫定実施計画

関係機関	1993年				1994年													
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
UNHCR (アセアン)	アセアン専門家の派遣																評	
UNDP (アセアン)					アセアン専門家の派遣													
JICE					プロジェクト事務局 (UNHCR及びUNDPとの契約)													
JICA					個別専門家の派遣												備	
JOCV (JICA)					協力隊員の派遣													
農村開発省					カンボディア側プロジェクト実施機関													

活動内容	準備期間	本格実施期間
1. 農業開発	・ワークプランの作成 ・機材の調達	・準備期間に作成されるワークプランに基づき、プロジェクト・サイトを中心として本格的な活動を開始する。
稲作	・デモンストレーションの実施	
野菜	・広報活動	
果樹		
畑作		
家畜飼育		
養殖		
2. 生計向上	JOCV 2名	・合計50名 (アセアン専門家とJOCV)
3. 教育	アセアン専門家	
4. 公衆衛生	1-2名	

<準備期間> (1993年10月-1994年1月)

7ヶ国が1から2名の専門家(国別リーダーを含む)を、日本はJOCV2名を派遣し、プノンペン市内のホテル又は民家を借り上げて宿泊施設とし、プロジェクト・マネジャー及びカンボディア国関係機関と協力して、下記の活動をタケオ、サムロントン、コンピセイの各サブ・センター及びコンボンスプーのメイン・センターで行なう。

- 7. ワークプランの作成
- イ. 必要機材の調達
- ウ. デモンストレーションの実施
- エ. 広報活動の実施

<本格実施期間> (1994年2月以降)

JOCV及びアセアン専門家の分野別投入計画 (93年10月1日現在)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	タイ	JOCV	合計
活動内容	人数(女性)	人数(女性)	人数(女性)	人数(女性)	人数(女性)	人数(女性)
1. 農業開発	6	3 1	3(1) 3(1) 3	2	1  1	25(2)
(1) 稲作						9
訓練・普及						3
水管理						1
農業機械						1
(2) 野菜						3(1)
(3) 果樹	3(1)					
(4) 畑作	3					
(5) 畜産	1					
(6) 養殖	1					
2. 生計向上		4				9(2)
(1) 婦人子供服				1(1)		1(1)
(2) 手芸					1(1)	1(1)
(3) 木工				1		1
(4) 陶芸					1	1
(5) 美容					1	1
3. 教育						5(3)
(1) 英語			1(1)	2(1)		3(2)
(2) 体育					2(1)	2(1)
4. 公衆衛生	4	2		2	3(3)	11(3)
合計	10	10	10(3)	10(2)	10(5)	50(10)

上記の分野の7人専門家及びJOCVを合計50名規模で派遣し、新しくトラムクナに建設される宿泊施設から、タケオ、サムロントン、コンピセイの各サブ・センター及びコンボンスプーのメイン・センターに通勤(交通手段はプロジェクト車両)して、準備期間に策定されるワークプランに従って本格活動を行なう。治安状況が好転すればメイン・センターの宿泊施設も利用する。

なお、本格活動を、1994年3月まではUNHCRとの契約下で行ない、引き続き1995年3月まではUNDPとの契約下で行なう予定である。

### (3) 概算事業費

UNHCRの日本ファンドから、下記の分野に1994年3月までに合計436,057千円(3,580千ドル)を支出する。

- 7. 農村基盤整備
- 4. 農村地域開発
- ウ. 7人専門家の派遣費
- エ. 事務管理費

なお、UNHCRとの契約終了後、プロジェクト継続のための資金手当を行なうため、UNDPと協議することとなっている。

### (4) プロジェクトの活動内容

プロジェクトの分野別の活動は、下記のフレームワークに従うものであるが、詳細な活動計画は各アセアン専門家及びJOCVの赴任後、各分野別のチームリーダー及びプロジェクト・マネージャーと相談して各自で立案することとなっている。

## PROJECT ACTIVITIES

The paper, however, indicates merely the framework of the activities. More detailed project activities plan is requested to set terms of reference and the levels of the technicians who will be delegated to the Project. Here, it is tried to break down the activities as detailed as possible, but it is still expected that better ideas may be born by the technicians and volunteers after they go into the Project sites because 50 people are with 50 ideas. Some of data are attached at the back to provide basic information.

It is important to note that the Project is not research oriented but to practice what is needed in villages urgently and assist people for self reliance. The activities in the Project should be sustainable even after the Project ends.

## 1. Agricultural Development

### (1) Rice growing

#### Rice ecotypes in Cambodia

- a. Shallow-water rice.....Hilly areas, Project Sites
- b. Deep-water and floating rice..... Around Lake Tonle Sap, River beds
- c. Dry season rice(irrigated).....River beds
- d. Upland rice.....Northern Cambodia

#### Varieties

- a. Early varieties (Rice cycle is less than 120 days.)
  - IR varieties.....IR36, IR42, IR66, IR72, etc.
  - Local varieties.....Neang Phadan, Popy Angkor Kraham
- b. Medium varieties (Rice cycle is about 6 months.)
  - Local varieties.....Phcar Khgnei, Neang Minh, Phcar Sla, Prambei kuor, Chung Banla, Sambok Ang Krang, Krachak Chap, Kraham
- c. Late varieties (Rice cycle is about 9 months.)
  - Local varieties.....Toul Samrong II, Phcar Sla(Late type), Kantuy Touk, Neang Minh Ton

#### Dominant varieties in the Project sites

Chung Banla(M), Phcar Khgnei(M), Prambei Kuor(M), Sambok Ang Krang(M), Krachak Chap(M), Kraham(M)

Cultivated land is sandy and infertile with scarce rain on which rice production in Kompong Speu depends virtually, Department of Agronomy, Kompong Speudescribes. Rice is usually transplanted manually.

#### 《ACTIVITIES》

\*Rice seed production.....National Agricultural Research Station, Prey Phdau, Contract farmers.

To produce rice seed of recommended varieties and assist the Station.

\*Training and Extension.....Agricultural Training Center, Provincial Department of Agronomy, Model farms, Villages

To train extension workers (trainers) and farmers, and assist extension services.

\*Demonstration.....Farms in and around the centers, selected model farms.

To demonstrate rice growing, try and test different varieties, different application of organic and inorganic fertilizers, etc., and set field day, field trip, and to demonstrate compost making.

\*Water management and small scale irrigation.....Villages

To control water and encourage villagers to dig water reservoir, small scale irrigation channels and drainage.

\*Cropping pattern.....Demonstration farms, Model farms

To try and demonstrate different cropping patterns including green manure.

\*Agricultural machines.....Agricultural Training Center, Demonstration Farms, model farms and farmers' farms

To train repair of water pumps and encourage farmers simple mechanization, for example, comb thresher, foot thresher, hand weeder etc..

\*Postharvest..... Villages

To introduce different methods of drying, storage, milling, rice bank system, etc.

## (2)Vegetable growing

Vegetables are not grown much in the Project sites, but late dry season Cucurbitaceae vegetables, particularly water melon is grown here and there in dry paddy fields along the highway No.3. Vegetables are grown sometimes at homestead just for home consumption. No places are specialized for vegetable growing in the Project sites. Vegetable seeds are obtainable in Phnom Penh. There is National Vegetable Research Station in Kien Svay District, Kandal Province.

### Kind of vegetables

- a. Leaf vegetables.....Water convolvulus, Amaranthus, Cabbage, Mustard green White petiole
- b. Solanaceae.....Tomato, Egg plant, Green pepper, Capsicum, Chili
- c. Cucurbitaceae.....Cucumber, Pumpkin, Squash, Gourd, Water melon
- d. Allium.....Onion, Green onion, Chinese chives, Shallot
- e. Condimental vegetables.....Mint, Ginger, Lemon grass, Tamarind leaves, Coriander, Poygonum
- f. Other vegetables.....Straw mushroom, Black shelf fungi

### 《ACTIVITIES》

\*Trial and Demonstration.....Demonstration farms, Model farms

To try and demonstrate vegetables with diligent farmers who are given the harvest.

To disseminate the importance of vegetables for human nutrition and income generating.

\*Soil improvement.....Demonstration farms, Villages

To analyze soils with a simple soil kit to see a rough inclination of soils in selected areas and try various methods to improve the soil.

\*Post harvest

To introduce farmers bundling, packaging, preserving and marketing vegetables.

### (3) Fruit growing

Fruit trees are grown one by one near homestead, along road or on the levee of paddy field. They are palmera palm, coconut palm, mango, Indian jujube, tamarind, etc. Fruit seedlings are obtainable at private nurseries in Kien Svay District, Kandal Province.

#### Kind of fruit trees (hopeful in the Project sites)

Mango, Papaya, Banana, Jack fruit, Coconut palm, Annona, Guava, Tamarind, Bread fruit, Tamarind, Caimito (Star apple), Pineapple, Longan

#### Varieties of Fruit Trees

Mango.....Lahong, Keosary, Khtih, Pum Sen  
Papaya.....Liak, Sruoy  
Banana.....Ambong, Nam Var, Pong Muan  
Jack fruit.....Naing  
Coconut.....Phloeung, Tuk ker  
Annona.....Svet

#### Useful trees

Useful trees may be included in the activities of fruit growing in order to enrich environment of villages. They can be planted at community centers, at the school compounds, along roads, at homeyards, on the levees of paddy field, and particularly at the Project centers to provide people with shade firewood, cattle feed, organic matters to the field, etc.

#### Kind of Useful trees (Examples. Trees should be studied more.)

Sesbania (Sesbania grandiflora), Ipil ipil (Leucaena eucocephala), Neem (Azadirachta indica), Tamarind (Tamarindus indica), Rain tree (Samanea saman, Albizia sp.), Acacia (Acacia oswaldi, pendula)

《ACTIVITIES》

\*Tree Nursery.....Demonstration farms, Agricultural Training Center, Community centers in villages

To establish nurseries for fruit trees and useful trees, collecting good varieties of trees, and to propagate trees and deliver seedlings to farmers.

To train nursery men and propagators.

\*Extension.....Villages

To disseminate the importance of planting fruit trees and useful trees and skills to establish orchards.

(4) Subsidiary Crops

Pulses and grains fall into this category. They are Mungbean, Soya bean, ground nut, maize, sweet potato, cassava, sugar cane, etc. Some of them can be taken up for cropping pattern in rice growing paddy.

《ACTIVITIES》

\*Demonstration and Extension.....Demonstration farms, Model farms

To collect seeds of subsidiary crops, try at demonstration farms and disseminate them to villages.

(5) Animal husbandry

Live stocks in the Project sites are cattle, water buffalo, pig, chicken and duck. They are not enough, so that the Department of Agronomy in Kompong Speu planned to increase 6,350 cows, 6,350 pigs, 305,816 chickens and 805,816 ducks in 1991, and the results were unknown. It may be more important to increase small animals as chickens, ducks and pigs than large animals. It will be possible to introduce new animals for meat such as rabbit, pigeon, etc. to provide people with protein and more income.

《ACTIVITIES》

\*Propagation.....Villages

To collect good animals and propagate them and deliver them to villagers with sustainable methods.

\*Training and Extension.....Agricultural Training Center

To train extension workers how to grow animals.

## (6) Fish culture

Fresh-water fish are very popular food in Cambodia and they are cooked in fresh, smoked, salted and dried. Department of Fishery, Ministry of Agriculture provides fish fries of some species. They are raised in home ponds. There are also many natural fish such as Trei roas, Trei chdor, Trei andeng, etc. in rice field and ditches.

### Kind of fish for raising

- Telapia (Telapia nilotica and mossambica)
- Catfish, Trei pra (Pangasius micronemus)
- Local carp (Puntius javanacus)
- White carp (Hypophthalmichthys hamand)
- Common carp (Cypionus capio)
- Big head carp (Aristichthys nobilus)

### 《ACTIVITIES》

#### \*Hatch and raising fries...Hatchery at Main center

To collect parent fish, hatch eggs, raise fries and deliver them to fish ponds.

#### \*Training and extension...Hatchery, Villages

To train fish cultures, encourage villagers to dig fish pond and to extend skills of fish growing to villagers.

## 2. Income Generating Livelihood Development

Income generating livelihood activities aim at increasing income with simple skills of home industry or its sort for poor families, especially put much importance on widowed women. Activity area varies widely and some of possible activities are listed here. A technician can be just an organizer of training in some cases. The activities will be held at the training hall in the Project centers and community centers in villages.

### 《ACTIVITIES》

- \*Dressmaking.....Wears of children and women
- \*Handicraft.....Bamboo, Rattan, Cloth craft(Krama,Sampot.)
- \*Woodwork..... Woodcarving, Furniture (including door and window)
- \*Blacksmith..... Sickle, Knife, Spade, Hoe
- \*Repair works.....Bicycle, Motorcycle, Radio, battery charging
- \*Brick and Tile making....Bricks, Roof tile
- \*Pottery..... Water jar, cooking pans, cups, etc.

- \*Rice mill (Small capacity)
- \*Sugar mill.....Red sugar (jaggery) from sugar palm
- \*Ice making
- \*Hair dressing

### 3. Upgrade Education

Education system in Cambodia offers students schooling 3 years in Preschool (Kindergarten), 5 years in Primary school, 3 years in college (Junior high school), 3 years in High school (Lycee offers 6 years education including junior high school and high school), and total schooling years before higher education are 11 years. Children starts primary school at the age of 6.

There are 13 preschool, 180 primary schools, 23 colleges and 4 lycees in Kompong Speu Province, and also 2 further education schools for repeaters and 1 pedagogy school (Teacher training school), and adult education for illiterate is held at each Commune.

In the Province, there are 3,413 teachers in total as of 30 march, 1993, but teachers in primary schools and lycees are not enough. Students are over 70,000 in primary schools, 5,472 in junior high schools and 1,542 in high schools. Tuition fees are 300 riels in primary school, 500 riels for college and 700 riels for lycee, and textbooks are leased for free.

Department of Education in the Province describes that issue areas are repair and construction of primary schools, construction of class rooms in colleges, teaching English in colleges and lycees, a Jeep for the Department, educational equipments and lab technicians. There are 4 NGOs assisting education in the Province.

#### 《ACTIVITIES》

- \*English education.....Pedagogy school, Colleges, Lycees

To teach teachers and students English.

- \*Support for education.....Primary schools

To assist primary schools to improve school buildings, desks, chairs, black boards and environments, and to support primary schools for educational materials and equipments.

### 4. Upgrade Public Health

There is a clinic at a commune, a dispensary at a district and a hospital at a province.

Provincial Hospital: Top hospital in a province, having usually medicine, surgery, OG(Obstetrics and gynecology), pediatrics. 175 staffs at the hospital of Kompong Speu.

Dispensary: Some having 1 medical doctor, 5-10 beds usually for TB, malaria or maternity.

Clinic: 1 midwife and/or nurse, no facilities. 779 staffs are working for health in the Province and among them there are 27 doctors, 35 medical assistants, 8 dentists, 15 pharmacist, 482 nurses, 101 midwives and 10 lab technicians including all the levels of specialties throughout the Province.

All health activities should be under the National Health Policy and it is essential to fully coordinate with the provincial COCOM (Coordination Committee for Health). Although primary midwives, primary nurses and TBA (Traditional Birth Attendants) are responsible for PHC (Primary Health Care), the qualities of their activities are highly varied. And PHC at a commune level is most urgently needed.

There are training courses organized by PMI (National Institute for Maternal Child Health) and written curricula, which will be worth to be referred to for training.

7 NGOs have been assisting health care in the Province.

### 《ACTIVITIES》

\*Primary health care.....Clinics at centers and communes, Villages

To practice EPI (Expanded Immunization Program), Water sanitation, MCH (Maternal Child Health) including ARI(Acute Respiratory Infection), Diarrhea.

\*Training.....Clinics at centers and communes

To train primary midwives, primary nurses and TBA.

\*Health Education.....Schools

To educate students on Public hygiene.

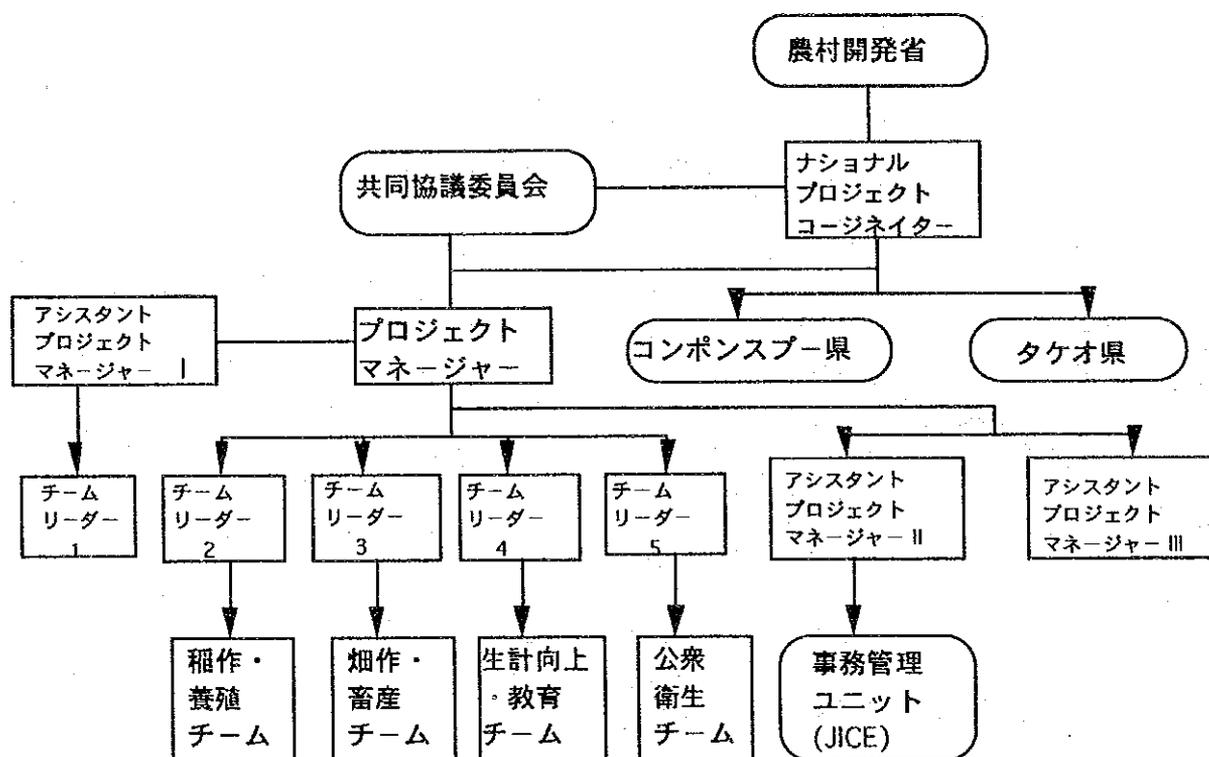
### 3-2 プロジェクトの実施体制

プロジェクトを円滑に推進する目的で、Joint Consultation Committeeを現地に設置する。同委員会はプロジェクト実施期間中に3回以上の会合を持ち、プロジェクトのワークプランの承認、全般的な進捗状況の監督、評価報告書の審査等を行なうこととなっている。以下の13機関の代表が委員会のメンバーとなっている。また必要があれば、関係者・関係機関を委員会に招待できる。委員会の事務局はJICEが担当する。

- (1) 日本、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピンの各政府代表
- (2) 農村開発省の代表
- (3) 外務・国際協力省の代表
- (4) 農林水産省の代表
- (5) 国連機関の代表
- (6) National Project Coordinator
- (7) プロジェクト・マネージャー

- (8) JICEからの代表
- (9) JICAカンボディア事務所長

カンボディア側の実施機関である農村開発省は、National Project Coordinatorを任命して、プロジェクトの全活動にかかる総合調整を担当する。プロジェクト実施体制の組織図は以下のとおり。



農村開発省は、カンボディア側との連絡・調整を目的としてアシスタント・プロジェクトマネージャーI及びアセアン専門家とJOCVsのカウンターパートのリーダーとしてのチーム・リーダー1を配置する。

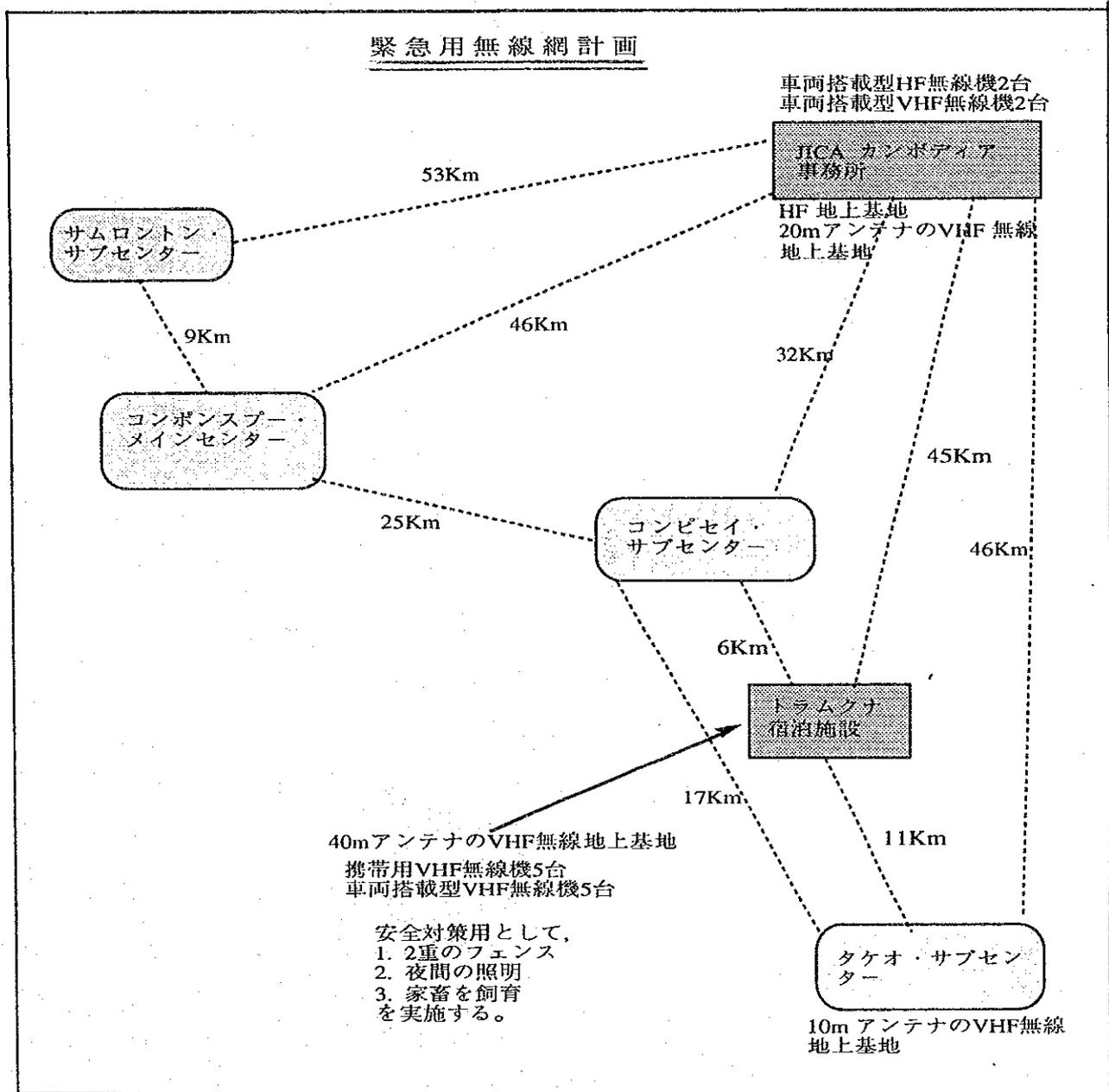
日本からは実施責任者であるプロジェクトマネージャー及びJICAと日本政府との連絡調整等の目的でアシスタント・プロジェクトマネージャーIIIをJICA専門家として農村開発省に派遣する。

JICEはプロジェクトの事務管理・後方支援のためにアシスタント・プロジェクトマネージャーIIを派遣し、プノンペンに事務管理ユニットを設置する。

プロジェクトマネージャーは各分野別のチームを運営管理と連絡・調整するために、アセアン専門家の中からチーム・リーダーを任命する。

### 3-3 プロジェクト・サイトの安全対策

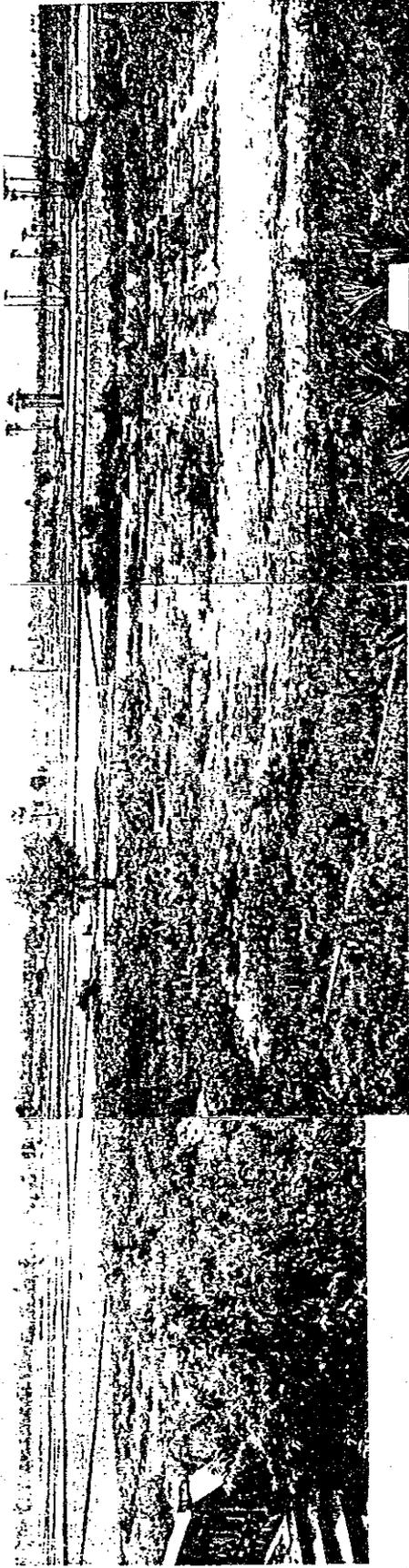
プロジェクト・サイトの治安状況は、1-5 調査結果の概要の項で述べたとおりである。JICAとしては、通常途上国で安全対策を実施するようにプロジェクトの各センター、特にトラム・クナに建設予定の宿泊施設に、JICA本部安全対策課と緊密に協力して、下記のような安全対策を講じる予定である。



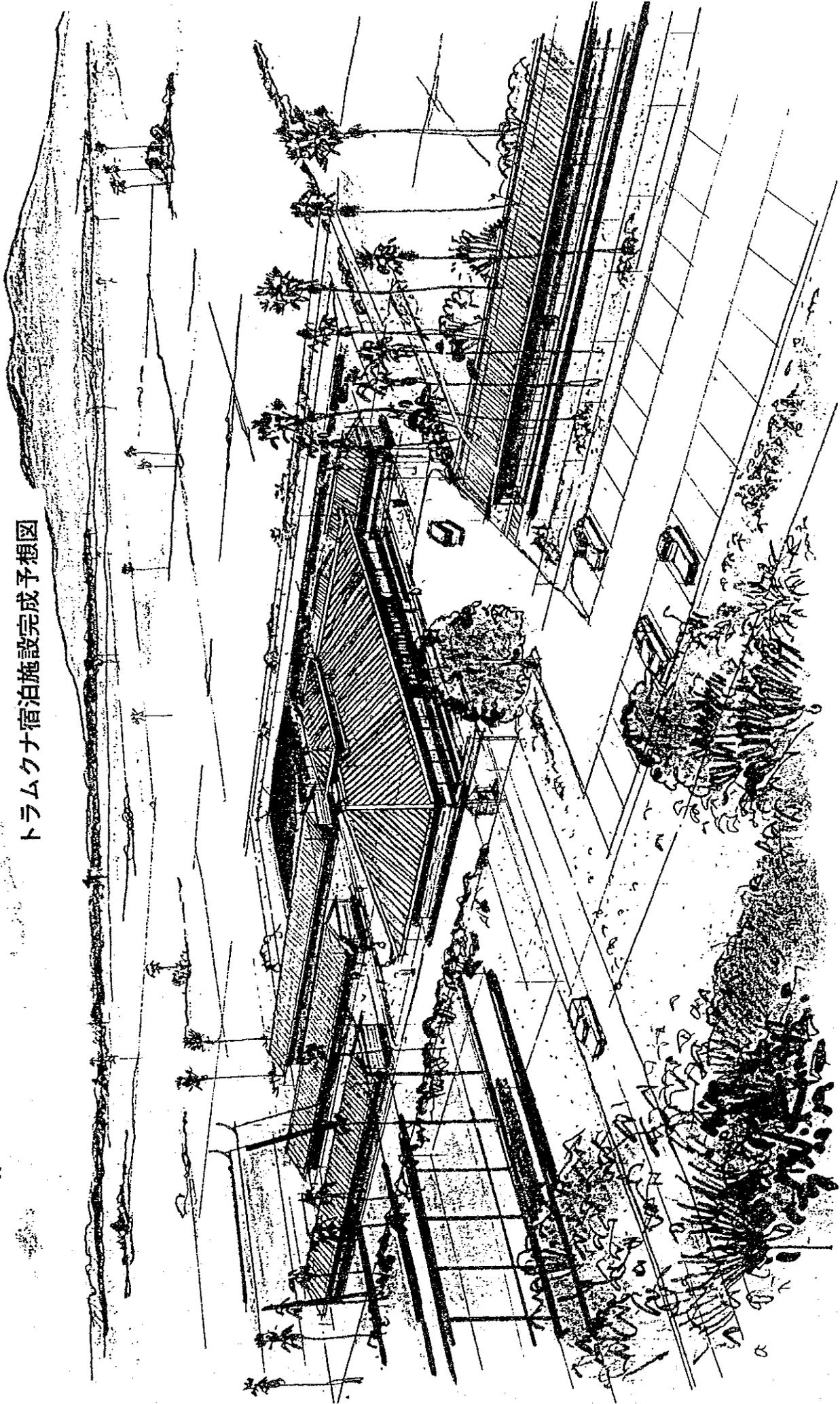
トラムクナ宿泊施設建設予定地



添付資料 (1)



トラムクナ宿泊施設完成予想図



THE REFUGEE RESETTLEMENT  
RURAL DEVELOPMENT PROJECT IN CAMBODIA

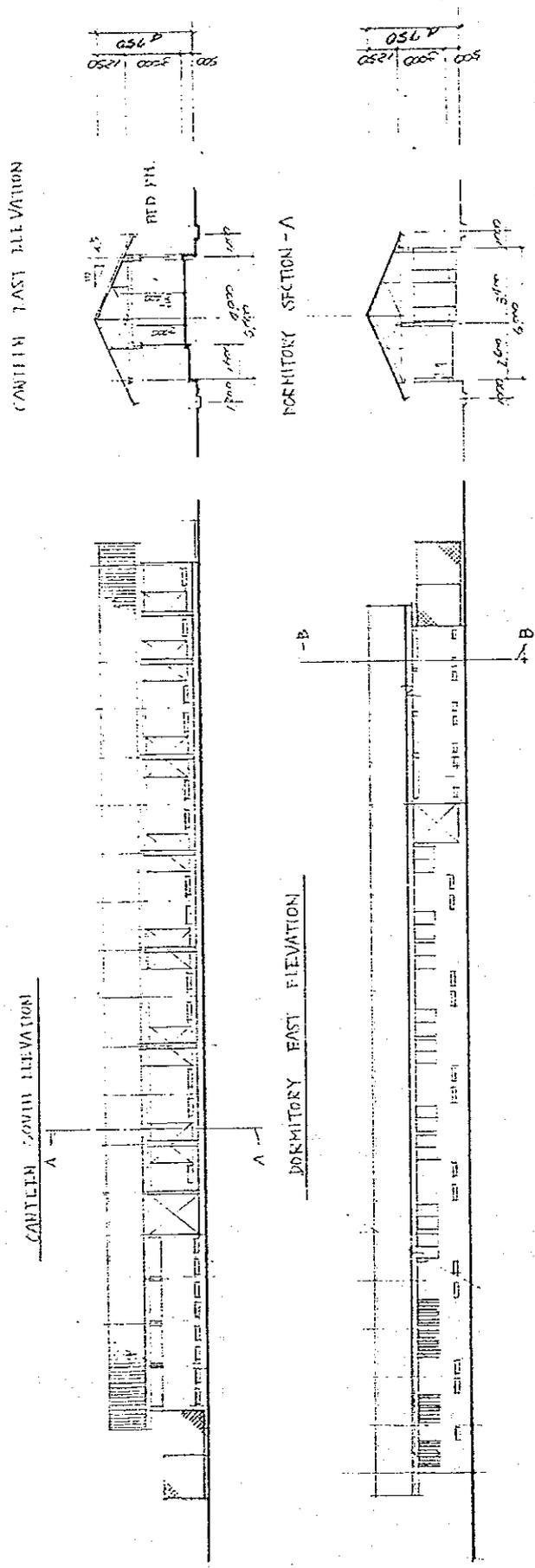
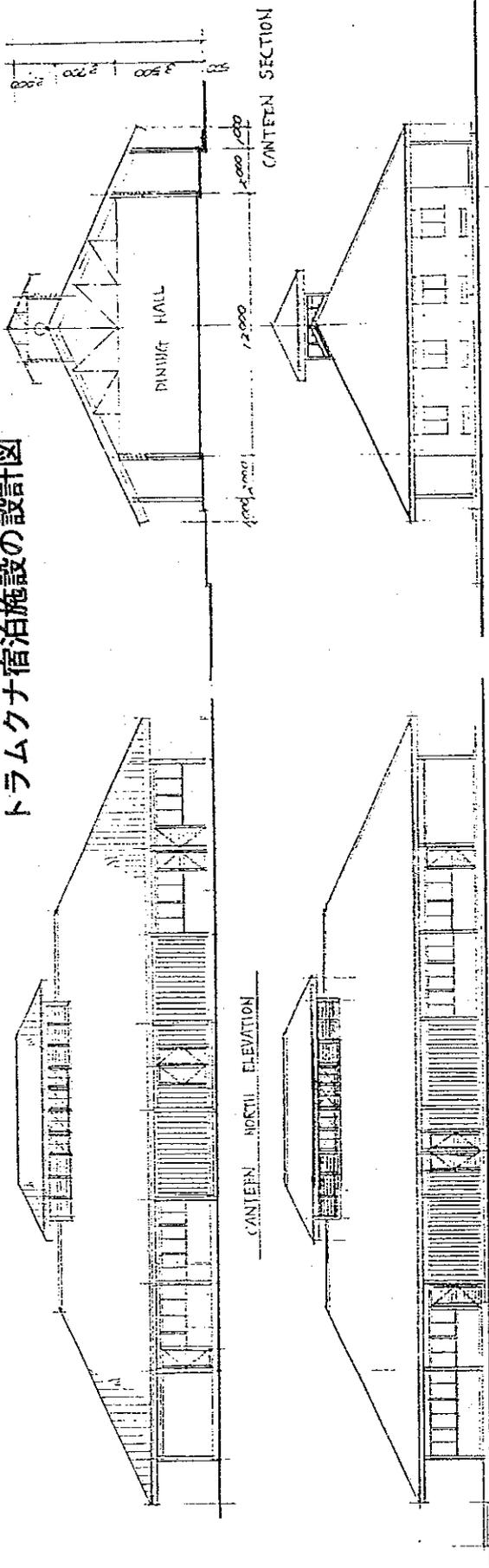
TRAM KHMAR LODGING PLAN

PERSPECTIVE

63.SEP.24

NO.1

# トラムクナ宿泊施設の設計図



**THE RECORD OF DISCUSSIONS  
ON THE JOINT COOPERATION  
FOR THE RURAL DEVELOPMENT  
AND  
RESETTLEMENT PROJECT  
IN  
CAMBODIA**

Mr. Koji Kakizawa, Vice Minister of Foreign Affairs of Japan, made a proposal at the Post-Ministerial Conference in Manila on July 24, 1992, to initiate "Tripartite Technical Cooperation Project" to assist the rural development and resettlement of displaced persons in Cambodia. Follow-up discussions were held among the relevant Governments to discuss the project in general and dispatching their experts in particular.

As a result, a Joint Japan, Indonesia, Malaysia, the Philippines and Thailand mission (hereinafter referred to as "the Mission") visited Cambodia from 26 of September to 2 of October, 1993 for the purpose of working out the details of the Rural Development and Resettlement Project (hereinafter referred to as "the Project") in Kompong Speu and Takeo Province.

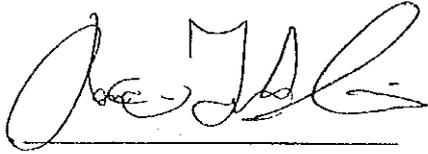
During its stay, the Mission exchanged views and held a series of discussions with concerned Cambodian authorities, UNHCR and UNDP regarding measures to be taken to ensure successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, each party agreed to recommend to their respective

governments the matters referred to in the Attached Document hereto for further consideration and final approval.

PHNOM PENH, CAMBODIA

30, September, 1993



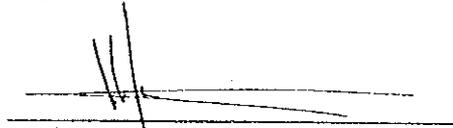
Mr. Reiichiro TAKAHASHI  
Representative, The Japanese Government

---

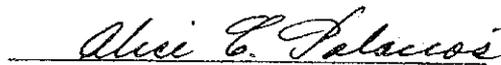
H.R.H Prince NORODOM SIRIVUDH  
Minister for Foreign Affairs and  
International Cooperation,  
Kingdom of Cambodia



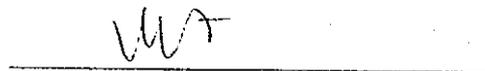
Mr. Sukanto  
Representative, The Indonesian Government



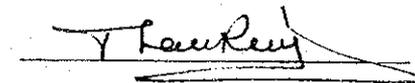
Mr. Mohamad bin Zainol Abidin  
Representative, The Malaysian Government



Ms. Alice C. Palacios  
Representative, The Philippine Government



Mr. Wuti Niponkit  
Representative, The Thai Government



H.E THACH RENG  
Minister for Rural Development,  
Kingdom of Cambodia

**THE ATTACHED DOCUMENT**  
**OF**  
**THE RECORD OF DISCUSSION ON**  
**THE JOINT COOPERATION FOR**  
**THE RURAL DEVELOPMENT AND**  
**RESETTLEMENT PROJECT IN CAMBODIA**

**I. COOPERATION AMONG PARTICIPATING GOVERNMENTS**

I.1 UNHCR signed the contract with Japan International Cooperation Center (hereinafter referred to as "JICE") on "Refugee Resettlement/ Rural Development Project" Project Symbol : 92-93/KR/KAM/RP/375 on November 18, 1992.

I.2 To obtain the maximum result from the project described above in I.1. Governments of Japan, Indonesia, Malaysia, the Philippines, Thailand, and Cambodia and JICE agreed to cooperate with each other in implementing "The Rural Development and Resettlement Project" (hereinafter referred to as "the Project") for the purpose of promoting resettlement of the returnees, internally displaced persons, demobilized military personnel and the local population, so that peaceful and continuous development of rural communities will be achieved in Cambodia.

I.3 During the implementation of the project in Kompong Speu and Takeo provinces, the main project site will be the Rural Development Center in Kompong Speu province. Two project sub-sites will be in the same province and one in Takeo province. Accommodations will be provided at Tram Khna in Kompong Speu province as described in II.4.4..

I.4 The project will be implemented in accordance with the Master Plan attached as ANNEX I hereto, provided that the security measures are appropriately arranged by the Cambodian authorities.

**II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE PARTICIPATING GOVERNMENTS AND JICE**

*ayp*  
II.1. Government of Japan

II.1.1 In accordance with the laws and regulations in force in Japan, Government of Japan will take

*Handwritten signatures and initials:*  
JH  
J  
WLT

necessary measures through Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") to provide for the Project, at its own expense, services of Japanese personnel for the Project Manager and the Assistant Project Manager III referred to section 7 in the Master Plan, through normal procedures under the Colombo Plan technical cooperation scheme, and Japan Overseas Cooperation Volunteers (hereinafter referred to as "JOCV") in accordance with the Exchange of Notes signed on June 1, 1992 in Phnom Penh.

## II.2. Governments of Indonesia, Malaysia, the Philippines and Thailand

II.2.1 In accordance with the laws and regulations in force in respective countries, Governments of Indonesia, Malaysia, the Philippines and Thailand will provide for the Project, at their own responsibilities, services of their citizens for experts referred to section 7 in the Master Plan. One of the experts from each countries will be designated by their respective governments as the Team Leader.

II.2.2 Governments of Indonesia, Malaysia, the Philippines and Thailand will take necessary measures to have their experts granted in Cambodia, privileges, exemptions and benefits listed in article II.3.2 below, prior to their dispatch.

## II.3 Government of Cambodia

II.3.1 As an implementing agency in the Government of Cambodia, Ministry of Rural Development will coordinate concerned Cambodian authorities in regard to the Project.

II.3.2 Necessary measures will be taken by Ministry of Foreign Affairs and International Cooperation to grant equal privileges, exemptions and benefits among the participating parties as follows:

- (1) of Japanese personnel ; i.e. the Project Manager and Project Manager III in accordance with the Colombo Plan technical cooperation scheme,
- (2) of volunteers in accordance with article 3 of the Exchange of Notes on JOCV stated in article II.1.1. above, and,
- (3) of the experts from Indonesia, Malaysia, the Philippines and Thailand in accordance with the Colombo Plan technical cooperation scheme in the following areas:

- a. Exemption from customs duties, taxes and charges of any kind in respect of importation of equipment, machinery, materials and medical supplies necessary for their activities under the Project.
- b. Exemption from customs duties, taxes and charges of any kind other than those for storage, cartage and similar services in respect of importation of their personal and household effects.
- c. Exemption from income taxes and charges of any kind on any allowances to be remitted to them such as living allowances mentioned in II.4.3 below.

II.3.3 Necessary measures will be taken by Ministry of Foreign Affairs and International Cooperation to guarantee exemption of customs duties and taxes on equipment and materials procured in II.4.1 below.

II.3.4 The Government of Cambodia will indemnify personnel from Japan, Indonesia, Malaysia, the Philippines and Thailand engaged in the Project against any claims brought in respect of liabilities resulting from performances of their functions, except where it is agreed between the Governments of Japan, Indonesia Malaysia, the Philippines, Thailand and the Government of Cambodia that such claims arise from the gross negligence or wilful misconducts of the personnel.

II.3.5 Ministry of Rural Development will assign the National Project Coordinator, the Assistant Project Manager I and other necessary counterparts to the Project referred to section 7 in the Master Plan.

II.3.6 Other Cambodian authorities including those of Kompong Speu and Takeo province will cooperate to successful implementation of the Project and will assign necessary staff to the Project.

II.3.7 The security measures at the Project sites and surrounding areas for the activities will be appropriately arranged by the Cambodian authorities.

II.3.8 After the Project ends, buildings, facilities and equipment as well as vehicles provided for the Project will become property of the appropriate Cambodian authorities with the consent of the relevant UN executing agency, and will be utilized for rural development.

*Handwritten signatures and initials:*  
A large signature on the left, and the initials "M.H." written below it.

## II.4 JICE

II.4.1 JICE will implement construction of the Rural Development Center and three sub-centers of the Project and will upgrade rural roads in Kompong Speu province, prior to commencement of the Project. JICE will also procure essential equipment and vehicles for the Project.

II.4.2 JICE will assign its personnel to the Project for the Assistant Project Manager II referred to section 7 in the Master Plan.

II.4.3 JICE will bear the following expenses for each expert from Indonesia, Malaysia, the Philippines and Thailand:

- (1) International flights and travel allowances as well as an excess baggage of 10 Kg between Phnom Penh and the capital of each country ,
- (2) Accommodations in Cambodia,
- (3) Monthly Living Allowance of US\$600 ,
- (4) Premium for a medical and accident insurance for the period of the assignment,
- (5) Transportation means are provided for works within Cambodia, and
- (6) Expenses involved in evacuation to Bangkok in case of emergency and special medical treatments in Bangkok, if necessary.

II.4.4. JICE will build accommodation facilities for the experts and JOCVs at Tram Khna in the Kompong Speu province, prior to the full-scale implementation phase of the Project.

## III. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

III.1 For effective and successful implementation of the Project, the Joint Consultation Committee will be established with functions and composition as referred to section 6 in the Master Plan.

*Handwritten signature and initials*

III.2 The Project's organization structure is referred to section 7 in the Master Plan.

III.3 Ministry of Rural Development will assign a senior official as National Project Coordinator. He or she will be responsible for the overall coordination of the project activities.

III.4 The Project Manager is responsible for the overall operational activities. The Project Manager together with the Assistant Project Managers and the Team Leaders will formulate workplan, periodic progress reports through National Project Coordinator to the Joint Consultation Committee.

#### IV. MUTUAL CONSULTATION

IV.1 There will be mutual consultations among the Governments and organizations concerned on any issues arising from or in connection with this Attached Document.

#### V. TERM OF COOPERATION

V.1 Due to the delay in the commencing of the Project which was originally scheduled to be from April 1993 to March 1994, the Japanese government shall consider the possibility of continuation of the Project in cooperation with UNDP and its current rural development programme.

TR

ap

*[Handwritten signature]*  
1994

**THE MASTER PLAN**  
**ON**  
**THE JOINT COOPERATION**  
**FOR**  
**THE RURAL DEVELOPMENT**  
**AND**  
**RESETTLEMENT PROJECT IN CAMBODIA**

**1. OBJECTIVES OF THE PROJECT**

- 1.1 "The Rural Development and Resettlement Project in Cambodia" (hereinafter referred to as "the Project") aims at promoting food production, income generating activities and other rural community development activities in the provinces of Kompong Speu and Takeo (hereinafter referred to as "the Provinces") through joint technical assistance of Governments of Japan, Indonesia, Malaysia, the Philippines, Thailand and Cambodia. Japan International Cooperation Center (hereinafter referred to as "JICE") will provide necessary support to the Project. The Project is intended to promote rural development and resettlement of the returnees, internally displaced persons (IDPs), demobilized military personnel and the local population, so that peaceful and continuous development of rural communities will be achieved in Cambodia.
- 1.2 The Project plans to introduce appropriate techniques of agriculture and income generating activities applicable in the Provinces through demonstrations, model farms, production centers, and group or individual guidance and training at the Project sites.
- 1.3 In order to bring about a healthy rural community development, the Project plans to upgrade conditions of education and public health in the Provinces through individual and/or group teacher and nurse training, through campaigns and/or direct approaches to the residents.
- 1.4 The Project aims for model rural area development in the Provinces, focusing on upliftment of living conditions for resettled returnees, IDPs, demobilized military personnel and the local population in particular and improvement of the present conditions of rural areas in general. The Project will not only strengthen agriculture production bases to attain its self-sufficiency but also to diversify income generating activities. In so doing, improvement of the present

agricultural technology and increase of food production as well as enhancement of capacity in the Provincial Agricultural Departments and general upliftment of living conditions in rural areas will be achieved. Technical assistance shall be delivered in the fields of agriculture, education, public health and income generating activities.

## **2. PROJECT SITES AND ACCOMMODATION FOR EXPERTS**

- 2.1 The Project will be carried out in Kompong Speu and Takeo provinces, through the Rural Development Center, the Agriculture Training Center and two sub-centers in Kompong Speu province and one in Takeo province.
- 2.2 The Rural Development Center for the main project site is located 45 kilometers (Km) west-south-west of Phnom Penh on National Road No. 4 adjacent to the Provincial Department of Agriculture in Kompong Speu province.
- 2.3 The Agriculture Training Center is located 8 Km east of the Rural Development Center.
- 2.4 The Samrong Tong sub-center is located in Kompong Speu province 8.6 Km north-west of the Rural Development Center.
- 2.5 The Kong Pisei sub-center is along of National Road No. 3 in Kompong Speu province, 25 Km south-east of the Rural Development Center.
- 2.6 The Takeo sub-center is located 40 Km south-east of the Rural Development Center.
- 2.7 Accommodation facilities for the experts and JOCVs will be built at Tram Khna in Kompong Speu province 6 Km south-west of the Kong Pisei sub-center.

## **3. PROJECT IMPLEMENTATION PHASES AND ACTIVITIES**

- 3.1 The Project was revised through consultation with the participating governments and organizations in the following manner;

- 3.1.1 Preparatory Phase (October - December 1993)

*Handwritten signatures and initials:*  
A large signature on the left, and the initials "TR" on the right, both written in black ink.

A. Site location

- a. Accommodation : Hotels or rented houses in Phnom Penh
- b. Implementation areas : Kompong Speu and Takeo provinces (The Rural Development Center, Kong Pisei, Takeo sub-centers and Phnom Penh)

B. Personnel : The Project Manager, the Assistant Project Managers, two JOCV volunteers and one or two experts from each ASEAN country which should include a National Team Leader.

C. Activities : Provided that the security measures are appropriately arranged, JOCVs and ASEAN experts will be dispatched :

- (1) To formulate a workplan
- (2) To procure necessary equipment, and
- (3) To carry out demonstration and public relations activities.

3.1.2 Full-Scale Implementation Phase (January - March 1994, and afterwards)

A. Site Location

- a. Accommodation : Tram Khna
- b. Implementation Areas : Kompong Speu and Takeo provinces (The Rural Development Center, Kong Pisei, Takeo and Samrong Tong sub-centers)

B. Personnel : Up to 50 experts and JOCVs in all.

C. Activities : Scale of activities will be decided according to the workplan formulated in the Preparatory Phase.

**4. DURATION OF THE PROJECT**

4.1 Due to the delay in the commencing of the Project, the Japanese government shall consider the possibility of continuation of the Project in cooperation with UNDP after the present contract between UNHCR and JICE expires. The existing contract with UNHCR would be effective from April 1993 up to March 1994.

4.2 The duration of joint cooperation will be from October 1993 to March 1994 under UNHCR scheme and up to March 1995 under an arrangement to be finalized with UNDP.

**5. CONSIDERATION OF SECURITY**

All activities under this Project will be carried out, provided that the security measures are

*Handwritten signature and initials*

appropriately arranged by the Cambodian authorities.

## 6. THE JOINT CONSULTATION COMMITTEE

6.1 The role and responsibility of the Joint Consultation Committee (hereinafter referred to as "the Committee")

6.1.1 The Committee will :

- (1) address policy and operational issues which may arise from implementation of the Project.
- (2) approve workplan prepared by the Project Manager,
- (3) review progress reports ,
- (4) discuss crucial matters relating to the Project that may not be resolved by the Project Manager, and
- (5) deliberate on the evaluation report prepared by National Project Coordinator.

6.2 Composition of the Committee

6.2.1 The Committee will be composed of the following members :

- (1) The representative from respective Governments of Japan, Indonesia, Malaysia, the Philippines and Thailand,
- (2) The representative from Ministry of Rural Development,
- (3) The representative from Ministry of Foreign Affairs and International Cooperation,
- (4) The representative from Ministry of Agriculture, Fishery and Forestry,
- (5) The representative from the relevant UN executing agencies of the Project,
- (6) The National Project Coordinator
- (7) The Project Manager,
- (8) The representative from JICE , and
- (9) The Resident Representative of JICA .

6.2.2 The Committee shall be able to invite any other parties when need arises. Observers may attend the Committee with permission from the chairperson.

6.3 Chairperson of the Committee

The permanent chairperson of the Committee will be decided at the first Committee meeting.

6.4 Schedule of the Committee Meetings

The Committee shall meet at the beginning, middle and end of the Project implementation

*Handwritten signature and initials*

period. The chairperson, however, may convene a committee meeting when need arises.

- 6.5 The Secretariat of the Committee  
JICE will provide secretariat services for the Committee.

## 7. ORGANIZATION STRUCTURE OF THE PROJECT

7.1 The organization structure of the Project is as shown in the chart attached to the Master Plan.

7.2 National Project Coordinator

7.2.1 Ministry of Rural Development will assign a senior official as National Project Coordinator. He/She will be responsible for the overall coordination of the project activities.

7.3 The Project Manager

7.3.1 The Project Manager will be a Japanese personnel dispatched to Ministry of Rural Development of Cambodia through the JICA expert assignment scheme.

7.3.2 The Project Manager is responsible for the overall operational activities and will formulate workplan with the Assistant Managers and the Team Leaders described below. The Project Manager together with the Assistant Managers and the Team Leaders will submit periodic progress reports through National Project Coordinator to the Committee.

7.4 The Assistant Project Manager I

7.4.1 The Assistant Project Manager I will be assigned on full time basis to the Project by Ministry of Rural Development.

7.4.2 The Assistant Project Manager I will assist the Project Manager in :

- (1) coordination with the Cambodian authorities,
- (2) affairs of Cambodia personnel assigned to the Project, and
- (3) other logistic matters relating to the laws and regulations in Cambodia.

7.5 The Assistant Project Manager II

7.5.1 The Assistant Project Manager II will be designated to the Project by JICE.

7.5.2 The Assistant Project Manager II will assist the Project Manager in :

- (1) procurement of equipment and materials required in the Project,
- (2) budgeting and accounting for the Project, and
- (3) other logistic and clerical matters relating to the Project activities.

  
Handwritten signature and initials, possibly 'M' and 'J', with 'CLCT' written below.

7.6 The Assistant Project Manager III

7.6.1 The Assistant Project Manager III will be dispatched to Ministry of Rural Development of Cambodia for the Project through the JICA expert assignment scheme.

7.6.2 The Assistant Project Manager III will assist the Project Manager in :

- (1) liaison to all the participating parties in the Project,
- (2) coordination with the Japanese Embassy and JICA, and
- (3) other issues designated by the Project Manager.

7.7 Team Leaders

7.7.1 National Team Leaders will be responsible for the matters relating to the smooth operation of each of the national groups dispatched to the Project by Government of Indonesia, Malaysia, the Philippines and Thailand

7.7.2 Technical Team Leaders will represent sectional experts.

7.8 Composition of experts

7.8.1 Experts are from Indonesia, Malaysia, the Philippines, Thailand, Cambodia and JOCVs.

7.8.2 Experts will implement the Project activities through collaboration with each other and with Cambodian counterparts in accordance with the workplan.

8. PROJECT COST

8.1 The project cost under the present contract between UNHCR and JICE will be incurred in the following areas :

- (1) Improvement of Rural Infrastructure,
- (2) experts Expenses, and
- (3) Logistical procurement, Coordinators and the Project office expenses.

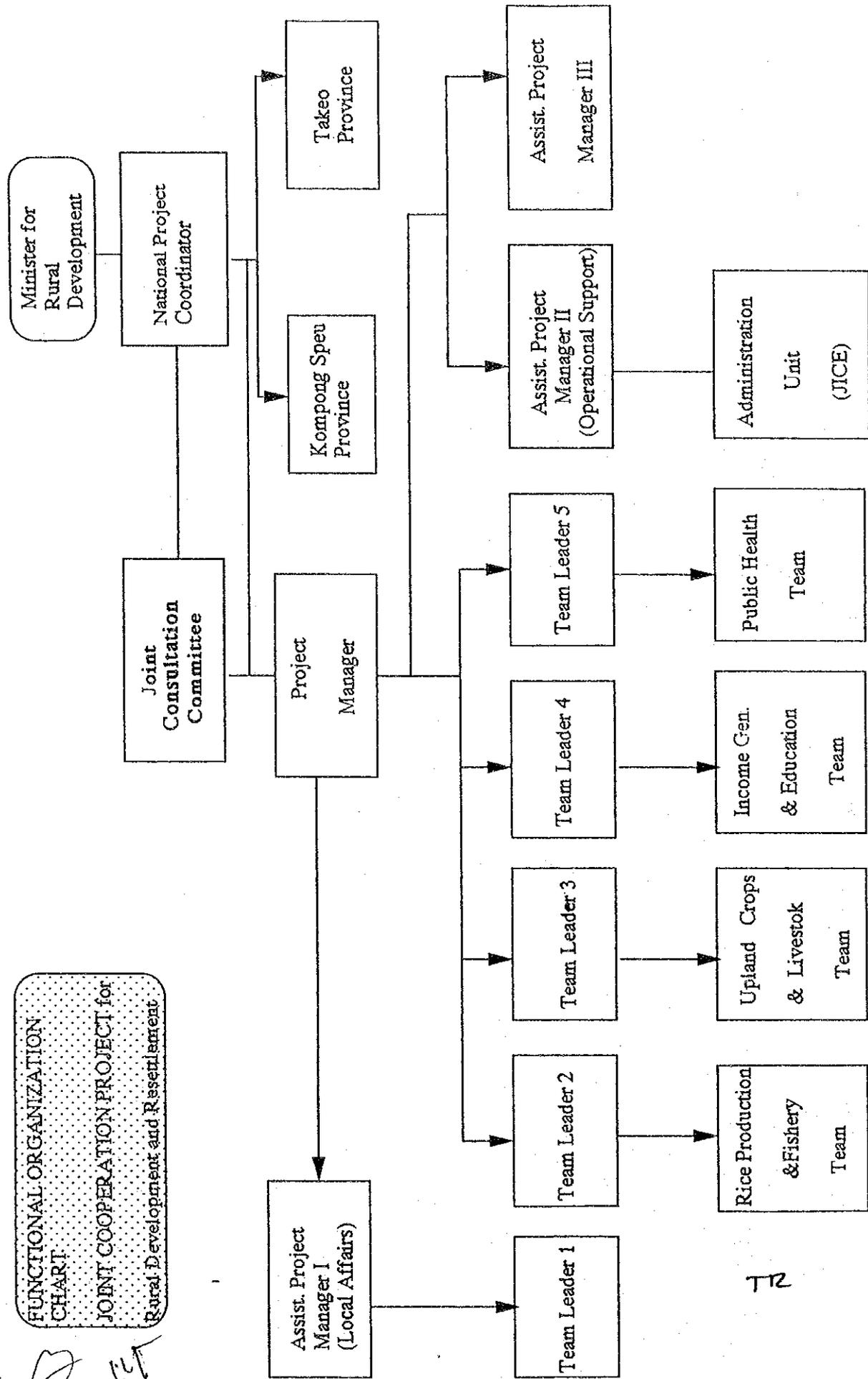
The total cost of the project will be at US\$ 3,580,000.

8.2 The Japanese government shall consider the possibility of further funding of the Project under an arrangement to be finalized with UNDP after the present contract with UNHCR expires in March 1994.

TR

*agp*  
*[Signature]*  
*[Signature]*

**FUNCTIONAL ORGANIZATION CHART**  
**JOINT COOPERATION PROJECT for Rural Development and Resettlement**



TR

*Handwritten notes:*  
 eye  
 ✓ JCC

**面会者及び会議参加者リスト**  
(プロ形調査団及び在外プロ形調査団以外)

9月27日(月)

Ministry of Foreign Affairs and International Cooperation

Mr. Sek Setha High Senior Officer in Charge of International Cooperation

Ministry of Rural Development

H.E. Thach Reng Minister

日本大使館

今川大使, 篠原参事官, 阿部一等書記官, 今村一等書記官

9月28日(火)

会議参加者

J. Farvolden	Programme Officer	UNHCR
Herman Stuurwolol	Senior Programme Officer	UNHCR
T. Kasai	Adovisor	Ministry of Planning
Liv. Lim Henaug	Director	Ministry of Planning
Sing Var	Director, Training Dep.	Ministry of Rural Development
Chan Tong Yves	Director, Planning	Ministry of Agriculture
Seng Narong	Deputy Director General	Ministry of Rural Development
Danai Menabodng	Second Secretary	Royal Thai Embassy
Sukanto	Second Secretary	Indonesian Embassy
H. Moriya	Project Manager	Ministry of Rural Development
S. Watanabe	Resident Representative	JICA Cambodia Office
Dceur Dina	Staff, Training Dep.	Ministry of Rural Development
Robert Piper	Assistant Resi. Rep.	UNDP

9月29日(水)

コンボンスプー県庁

Bin Sareth	Vice Governor (Director of Agriculture)
Yim Sokknour	Vice Governor
Li Sonn	Vice Governor
Tep Mem	Provincial Mumber

9月30日(木)

会議参加者

S. Watanabe	Resident Representative	JICA Cambodia Office
You Ay	Director	Ministry of Forien Affairs and

T. Kasai	Adovisor	International Cooperation
Seng Narong	Deputy General Director	Ministry of Planning
Try Meng	In-charge of Cimmitry Dev. Dep.	Ministry of Rural Development
Sukanto	Second Secretary	Ministry of Rural Development
N. Abe	First Secretary	Indonesian Embassy
T. Imamura	First Secretary	Japanese Embassy
		Japanese Embassy

10月1日(金)	UNDP及びUNHCRとの合同会議	
Michael Adair	Programme Manager	CARERE Programme- OPS
John Farvolden	Programme Officer	UNHCR
Serge Docasse	Charge de Mission	UNHCR
Herman Stuurwolol	Senior Programme Officer	UNHCR
Robert Piper	Assist. Resi. Rep.	UNDP

難民再定位計畫 3 調查結果資料

